

## 尾道市立大学大学院美術研究科における修士課程教育に関する基本方針

### 1 アドミッション・ポリシー(入学者の受け入れの方針)

美術研究科は、個々人の資質を尊重し、表現者としてのそれぞれの立脚点と方向性を模索しながら、自己実現へ向けて、研究科教員と大学院生とのコミュニケーションを軸に研究を展開させたいと考えています。

このような教育理念・教育目標に基づき、美術研究科は以下のような人を求めています。

- 専門分野の基礎的な知識や技術を修得している人
- 明確な研究テーマを持ち、持続的な探求能力を有する人
- 表現の実践的能力の修得と、研究成果の社会に向けた発信を行うことのできる人

### 2 カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

基礎理論科目、専門演習科目など幅広いプログラムの中から、自身の関心に応じた科目を選択するとともに、専門実習科目の担当教員とは密接にディスカッションを行い、各自の制作を自立的に進めていけるカリキュラムを組み立てています。徹底的な少人数教育を通じて、個々の資質に関する理解を深められるようになっていきます。1年次から2年次への進級においては、進級制作展の開催もあり、制作と両輪をなす発表を行う機会も組み込んでいます。

### 3 ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

美術研究科では、美術における専門家として持続的な造形活動に携わり、地域や社会の文化・芸術に寄与する人材の輩出を目標としています。このことを踏まえ、所定修了単位の取得と修了制作および副論文に加え、下記の能力を身につけた院生に対し、学位を授与します。

- 高度な専門性と優れた実践力を兼ね備えた能力
- 専門家として自覚的に自己表現の可能性を探求し、具現化する能力
- 発表などを通じて自らの専門分野について広い視野を持ち、自らの制作活動や作品について客観的な視点をもつことができる能力